

◆転倒とくすりの関係

①「転倒」の危険性
が高まるくすり



②「転倒」時に注意
が必要なくすり



③「転倒」時の骨折を予
防するくすり



①「転倒」の危険性が高まるくすり

■薬剤使用により転倒の危険性が高まる理由

→副作用等で精神の機能・運動の機能が障害され動作のバランス維持が困難となる。

〈精神機能の障害〉

眠気、ふらつき、注意力低下、失神、めまい、せん妄 など

〈運動機能の障害〉

脱力、筋緊張低下、パーキンソン様症状(手が震える、動きが遅くなる、筋肉が硬くなる、身体のバランスが悪くなる) など

① 「転倒」の危険性が高まるくすり

＜主な副作用＞	＜主な薬剤の種類＞
脱力、筋緊張低下	筋弛緩剤、抗不安薬
ふらつき、めまい	抗不安薬、睡眠薬、NSAIDs、抗てんかん薬 麻薬、非麻薬性鎮痛剤、抗がん剤
失神、起立性低血圧	降圧剤、利尿剤、抗うつ剤、向精神薬(睡眠薬除く)
せん妄状態	抗パーキンソン薬、ジギタリス製剤、麻薬、 H2拮抗剤、β遮断薬、抗がん剤
視力障害	抗コリン薬、抗てんかん薬
眠気、集中力・注意力の低下	睡眠薬、抗不安薬、抗てんかん薬、抗ヒスタミン剤 血糖降下剤、麻薬、非麻薬性鎮痛剤
パーキンソン様症状	抗精神薬、抗うつ剤、制吐薬、胃腸機能調製薬

■ 神経性疼痛緩和薬：重大な副作用として転倒の記載

副作用に「転倒」の記載があるくすり

■神経系に作用する薬剤

➤パーキンソン病治療薬

アポカイン、コムタン、ビ・シフロール、ミラペックスLA(プラミペキソール)、トレリーフ、ニュープロパッチ

➤抗認知症薬

アリセプト(ドネペジル塩酸塩)、イクセロン、リバスタッチ、メモリー、レミニール

➤抗精神病薬

インヴェガ、ジプレキサ、リスパダール(リスペリドン)、エビリファイ

➤睡眠薬

アモバン(ゾピクロン)、ハルシオン(トリアゾラム)、マイスリー(ゾルピデム)

副作用に「転倒」の記載があるくすり

■神経系に作用する薬剤

➤抗てんかん薬

ガバペン、エクセグラン(エクセミド)、マイスタン

➤鎮痛薬

トラマール、トラムセット、ノルspanテープ

■神経性疼痛緩和薬

➤重大な副作用に転倒の記載がある薬剤

リリカカプセル

◆睡眠薬

■主な睡眠薬

→超短時間型、短時間型、中間型長時間型に分類

<主な薬剤名>	<作用時間:hr>
マイスリー(ゾルピデム)*、ハルシオン(トリアゾラム)、アモバン(ゾピクロン)* *非ベンゾジアゼピン型	超短時間型(2-4)
デパス(エチゾラム)、レンドルミン(ブロチゾラム)、リスミー(リルマザホン)、ロラメット、エバミール(ロルメタゼパム)	短時間型(6-10)
ユーロジン(エスタゾラム)、サイレース、ロヒプノール(フルニトラゼパム)、ネルボン、ベンザリン(ニトラゼパム)	中間型(12-24)
ドラール(クアゼパム)、ベノジール(フルラゼパム)、ダルメート	長時間型(24~)

②「転倒」時に注意が必要なくすり

A:血液をサラサラにするくすり

➡転倒に伴う出血に注意する！

〈抗凝固薬(経口薬)〉

➤ワーファリン、プラザキサ、リクシアナ、イグザレルト、エリキュース

〈抗血小板薬(経口薬)〉

➤パナルジン(チクロピジン)、プラビックス、ドルナー、プロサイリン
プレタール(シロスタゾール)、バファリンA81、バイアスピリン、
アスピリン、エパデール(イコサペントサンエチル)、ケアロードLA、
アンプラーグ(サルポグレラート)、
ベラサスLA(ベラプロストナトリウム)、
ペルサンチン、アンギナール(ジピリダモール)
コンプラビン配合錠、タケルダ配合剤



②「転倒」時に注意が必要なくすり

B:ステロイド製剤:副腎皮質ステロイド(全身投与)

➤コートン、コートリル、プレドニン、プレドニゾン、
メドロール、デカドロン、リンデロン など

➡長期服用により骨粗鬆症の危険性を高める！

③「転倒」時の骨折を予防するくすり

■骨を強くする(転倒しても骨折しないようにする)

〈骨粗鬆症治療薬〉

➤天然型ビタミンD3製剤

ワンアルファ、アルファロール(アルファカルシドール)、
ロカルトロール(カルシトリオール)、エディロール

➤ビタミンK2製剤

グラケー(メナテトレン)

➤カルシウム製剤

アスパラCA(Lアスパラギン酸カルシウム)



③「転倒」時の骨折を予防するくすり 〈骨粗鬆症治療薬つづき〉

➤ ビスホスホネート製剤

ダイドロネル、フォサマック、ボナロン、ベネット、アクトネル、
リカルボン、ボノテオ、ボンビバ(点滴)

➤ イプリフラボン製剤: オステン

➤ SERM製剤: エビスタ、ビビアント

➤ 抗RANKLモノクローナル抗体: プラリア注

➤ PTH製剤: テリボン注、フォルテオ注

➤ エストロゲン製剤: エストラーナ、ホーリン、 エストリール、ウェールナラ



◆まとめ

1. 「転倒」の危険性が高まるくすり、「転倒」時に注意が必要なくすり、「転倒」時の骨折を予防するくすりがあります。
2. 「転倒」の危険性が高まるくすりには、中枢神経に作用するくすりなど多数あり、自分や家族が飲んでいる薬の特徴を知っておくことが大切！
3. 血液をサラサラにするくすり(抗凝固薬、抗血小板薬)は転倒時の出血に注意しましょう。
4. 膠原病やリウマチなどで、長期間ステロイドを服用されている方は、骨粗鬆症に注意が必要です。
5. 転倒時に骨折しないように骨を強くするくすり(骨粗鬆治療薬)が有効です。

